

当社が参画するファンドの排出権クレジット移転・分配について ～日本温暖化ガス削減基金(JGRF)のプロジェクト～

当社(社長:西尾 進路)の出資する日本温暖化ガス削減基金(Japan GHG Reduction Fund:JGRF)が獲得した排出権クレジットが2月20日、当社の※1国別登録簿管理口座に移転／分配されましたのでお知らせいたします。

JGRFは、京都メカニズムを活用した温暖化ガスの排出削減プロジェクトから生じる排出権クレジットを購入し、それを出資者間で分配することを目的として2004年12月に設立されたアジア初のカーボン・ファンドです。

実際のクレジット購入は、JGRFと同時に設立された日本カーボンファイナンス株式会社(Japan Carbon Finance, Ltd.: JCF)が行い、JGRFはJCFから転売を受ける形でクレジットを獲得し、出資比率に応じてファンド出資者に移転／分配します。

このたびJGRFが移転したクレジットは、「アントニオ・モラン風力発電プロジェクト (アルゼンチン)」事業から獲得した約10万トンであり、この内7,376トンが当社へ分配されるクレジットとなります。

なお、今回の排出権クレジット移転は、当社管理口座に移転される排出権としても第一号案件であり、当社排出権クレジット獲得事業における目に見える成果という点についても意義のある第一歩だと考えております。

当社は、グループ経営理念において「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げており、原油生産に伴う随伴ガスを回収・有効利用した「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」を推進するなど、積極的に地球温暖化対策に取り組んでおります。今後も、地球環境保全に寄与する事業活動を率先して行うことで、人々から最も支持される環境先進企業としてまい進して参ります。

※1 日本の排出権クレジット登録簿の中に企業毎に開設する管理口座。

● 別添資料

 [JGRF/JCFの概要について\(2.2MB\)](#)